



海水浴客でにぎわいを見せる海岸

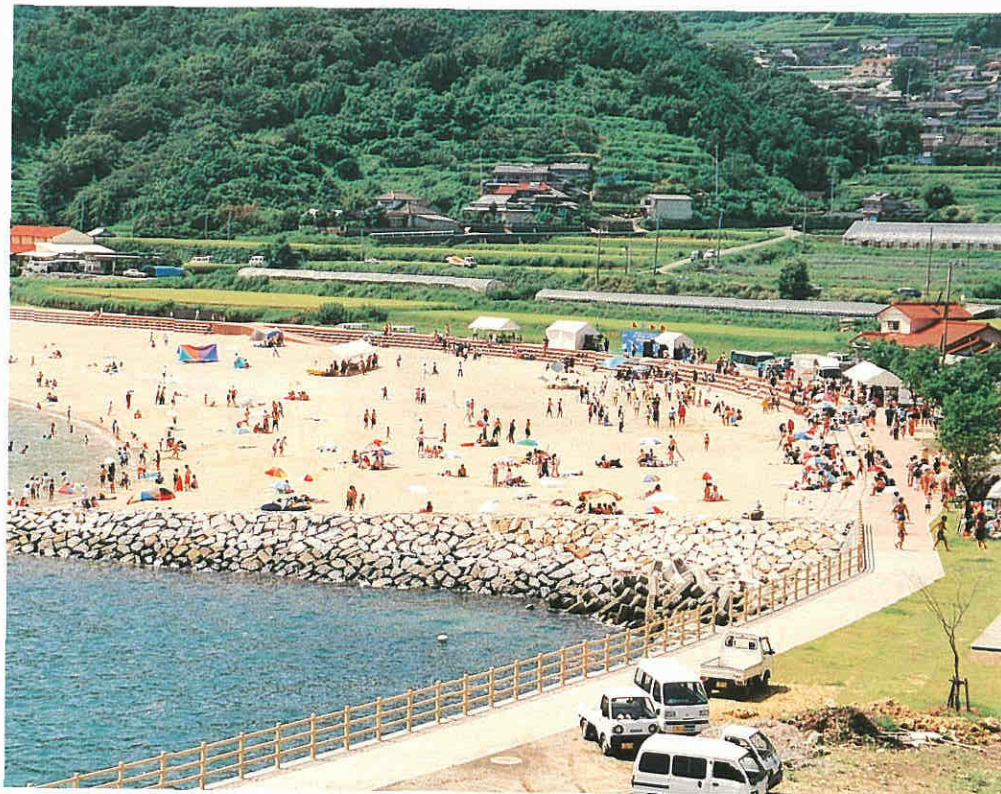


駐車場と海岸を結ぶ鯛夢トンネル



イベント会場としても活用される

31 倉岳町えびすビーチ



倉岳町では、海と緑の健康パークをテーマにまちづくりを進めており、倉岳山頂開発や公園整備などを行ってきたが、海水浴場と連携した海浜公園を整備することにより、地域間交流を促進させるため「倉岳町えびすビーチ」の整備を行った。

整備にあたっては、熊本県が事業主体となっている高潮対策のための海岸環境整備により人工海浜がつけられたことから、その背後地に倉岳町が海浜公園の整備を行った。

この施設は海水浴客の利用が主体となることから、シャワーやトイレなどを備えた管理棟を設けている。また、施設としての特色を見せるため、名称にも使われているように倉岳町がえびすの町として知られていることから、えびす像のモニュメントを設置しているほか、鯛釣りが盛んな地域であることから、駐車場と海岸を結ぶための通路を鯛夢トンネルと名付けている。

整備後は、えびすビーチ開発組合が結成され、海水浴シーズンに軽食類の販売を行っており、夏祭りのイベント会場としても利用されている。また、地元高校による海技教育の場としても使用されている。

DATA BOARD 31

- ①熊本県天草郡倉岳町宮田3846-3
- ②砂浜延長：267m、木製デッキ延長：120m
- ③熊本市内から車で約1時間40分、棚底港から車で約5分
- ④倉岳、歴史民俗資料館、倉岳大えびす像
- ⑤夏祭り、倉岳高校のマリンフェスタ

